

平成 24 年 7 月

帰省子へ訊問調となつてゐる  
片蔭に怠惰の人となりゐたる  
案の定持ち重りしてデカメロン  
糸瓜垂れさがる疲れたとも言へず  
過剰供給当初は喜雨と呼ばれしが  
昭和の子打水をして端居して  
節電に意気の上がらず暑氣払ひ  
憂きことを見ぬふりをしてみんなは  
晩夏てふ季語の二文字に詩のころ  
日射病より重症ならむ熱中症